

交 流 通 信

今回は、田原市の姉妹提携都市
愛知県北設楽郡津具村の
プロフィールなどをご紹介します

企画課 ☎ 23局3507

津具村のプロフィール

津具村は愛知県北東部に位置し、東は豊根村、西は設楽町、北は稲武町と長野県根羽村に接し、1000m級の山々に囲まれた盆地状の高原の村です。村に降った雨は、大半が天竜川水系の大入川へ、そのほかは矢作川水系の丸山川、豊川水系の箕ノ子川に流れ込み、それぞれの下流域の水源地になっています。

縄文時代のものとされる黒曜石の石刀により古代からの居住が確認され、戦国時代には武田信玄による津具金山が稼働、江戸時代からは、東三河から信州飯田に通じる伊那街道筋の宿場町として栄えてきました。

1649年ごろから分割されていた山方村と町方村が明治5年に上津具村に、南方村と北方村と平野村が下津具村となり、その後両村は合併。分村を繰り返して、昭和31年9月に現在の津具村が誕生しました。

面積 53・13km² 人口 1668人（平成16年4月1日現在） 交通 「自動車」田原市から約2時間30分 「鉄道・バス」JR飯田線本長篠駅下車・下津具行き（豊鉄バス）



津具村の全景

津具村と田原市の交流

田原市と津具村は昭和57年、同じ東三河の中で異なる環境を持つ「山の村」と「海の町」として交流をスタートしました。その後、小学校や青年会、スポーツ交流などさまざまな形に発展したことから、未永い交流を目指し、平成2年3月24日に「姉妹提携」を結びました。

また、交流の拠点施設として田原市と津具村が共同で整備した「つく高高原グリーンパーク」と、田原市が建設した「グリーンメッセージ」が平成2年4月19日にオープンし、その後も施設の充実に努めています。現在は、多くの住民が相互訪問できる事業として、「田原市・津具村交

流スタンプラリー」を催し、両市村を代表する観光・文化施設、イベントなどを訪ねる機会としています。

スタンプラリー参加者の声

春は枝垂桜、秋は紅葉。田原にないものを津具村が私にくれます。津具村のニジマスつかみ捕りに行きました。川がきれいで楽しかったですので、また行きたいです。スタンプの場所を探し、自然を満喫できました。

つく高高原グリーンパークでキャンプをしました。パターゴルフとか公園はとても楽しかったです。また遊びに行きたいです。毎年楽しみにしています。津具村の自然でホッとできます。



スタンプラリー開催期間
平成17年2月28日（月）まで
用紙は各ご家庭に配布済み